



シリーズ

# 武雄の治水

vol.13

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

## 武雄川の治水対策

武雄川流域は、令和元年、令和3年の豪雨によって大きな被害が発生しました。今回は武雄川の治水対策を紹介します。

武雄川では、令和元年の豪雨被害を受け、河川激甚災害対策特別緊急事業として、県による河川改修工事が進んでいます。令和4年度には**固定堰の撤去と拡幅のための護岸工事**が行われており、河川が流れやすくなることで、周辺の浸水被害軽減が見込まれます。



### NEWS

1月29日(日)

### 「治水とまちづくりを考えるシンポジウムin武雄」を開催しました

第1部

基調講演『これから私たちは、洪水と「どうつき合っていく」か?』

国立研究開発法人土木研究所の藤田光一理事長より、日本の地理的条件や治水整備の歴史などを踏まえながら、洪水との付き合い方が転換期にきていることなどについてお話しいただきました。



第2部

パネルディスカッション『水と共に生きるまちづくり』

五十嵐勉教授(佐賀大学全学教育機構)のコーディネートのもと、塚原健一教授(九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター長)、大串浩一郎教授(佐賀大学理工学部)、小松市長の3名から、治水対策と同時にまちの魅力を向上させていくために求められる視点などについて意見発表が行われました。



たくさんのご意見ありがとうございました 一会場でいただいたご意見をご紹介します

- ・日本の国土の地形上、生活基盤としての土地が水害に弱点があることがよく理解できた。
- ・これからのまちづくりは、いろいろな機関とその知見を活かした連携したまちづくりが必要だと思った。
- ・自然災害は避けられないと思うが、被害を最小にする治水対策をしてほしい。

当日の様子は Youtube (ケーブルワン公式) でご視聴いただけます。ぜひご覧ください。



詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

